

# 令和6年（1月～12月）における災害統計の速報値について

令和6年（1月～12月）における災害統計を取りまとめたので、お知らせします。



## 1 火災 【火災件数は220件で、過去2番目に少ない】

令和6年中の火災件数は220件でした。前年より23件（11.7%）増加しましたが、過去2番目に少ない件数になっています。このうち住宅火災は83件で、前年より14件（20.3%）増加しています。

火災による死者数は17人で、前年より7人増加し、過去10年で最多の人数となっています。このうち住宅火災による死者数（放火自殺者を除く。）は14人で、前年より8人増加しています。また、火災による死者のうち12人（70.6%）が65歳以上の高齢者となっています。

《出火原因の1位は「たばこ」、続いて「放火・放火の疑い」》

順位	原因	件数（割合）
1	たばこ	32件（14.5%）
2	放火・放火の疑い	24件（10.9%）
3	電灯・電話等の配線	20件（9.1%）
4	こんろ	16件（7.3%）
〃	電気機器	16件（7.3%）



## 2 救急 【救急出動件数は64,863件で、北九州市発足以降、最多】

令和6年中の救急出動件数は64,863件でした。前年と比較して1,802件（2.9%）増加し、北九州市発足以降、最多となり、1日あたり約177件、約8.1分に1回の割合で救急車が出動しました。

救急車で医療機関に搬送した人は58,178人で、前年と比較して2,135人（3.8%）増加しました。また、消防隊が救急現場に出動する「あかきゅう出動」は6,066件（全救急出動件数の9.4%）で、前年と比較して104件（1.7%）増加しました。



## 3 救助 【救助出動件数は502件で、出動件数、活動件数、救助人員ともに増加】

令和6年中の救助出動件数は502件でした。前年と比較して43件増加しました。出動件数（502件）の事故種別は、1位「建物等による事故」215件、2位「火災」107件、3位「交通事故」81件となっています。

北九州市において出動件数、活動件数、救助人員ともに最も増加した事故種別は「建物等による事故」（出動件数昨年比22.9%増）で、増加した要因は、単身世帯又は同居家族の外出時に施錠された住居での急病事案の増加によるものです。



【問い合わせ先】

（火災）

予防課長 渡邊  
火災調査係長 野田  
TEL 093-582-3836

（救急）

救急課長 森  
救急係長 三淵  
TEL 093-582-3820

（救助）

警防課長 関  
救助係長 友田  
TEL：093-582-3817